

## 第 10 回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：平成 22 年 4 月 26 日（月） 14:00～16:00

場 所：栃木県教育会館 中会議室

出席者：三島次郎委員長、杉田勇治委員、高橋滋委員、林不二雄委員、  
矢澤高史委員  
(敬称略、委員五十音順)

議 事：

1. 退任委員報告及び新任委員紹介

事務局より、退任委員の報告及び新任委員を紹介した。

2. 事業をとりまく状況と平成 22 年度実施予定工事について

事務局より、事業をとりまく状況と平成 22 年度実施予定工事（付替県道工事）について説明を行い、了解された。

3. 平成 21 年度環境保全対策の報告

事務局より、下記事項の説明を行い、了解された。

- ・ オオタカに対する保全対策
- ・ ムカシヤンマに対する保全対策
- ・ 植物に対する保全対策
- ・ 杓子沢等で行った環境への配慮
- ・ 環境巡視の実施
- ・ 南摩ダム周辺の動植物リストの更新（追加確認種）について

了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・ 植物の種によって移植の適期が違う。また、播種が適しているものと移植が適しているものがある。種ごとに適した方法をとるべきである。

4. 平成 22 年度工事の実施に伴う環境保全について

事務局より、下記事項の説明を行い、了解された。

- ・ オオタカに対する保全対策
- ・ ムカシヤンマに対する保全対策
- ・ 付替県道における環境保全計画
- ・ 環境巡視の計画

了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・ 県道の法面緑化で利用する森林表土は、種子の多い林縁部の土を使用した方が良い。
- ・ 森林表土の採取地は、帰化植物の多い人家跡地の周辺を避けるべき。

以上